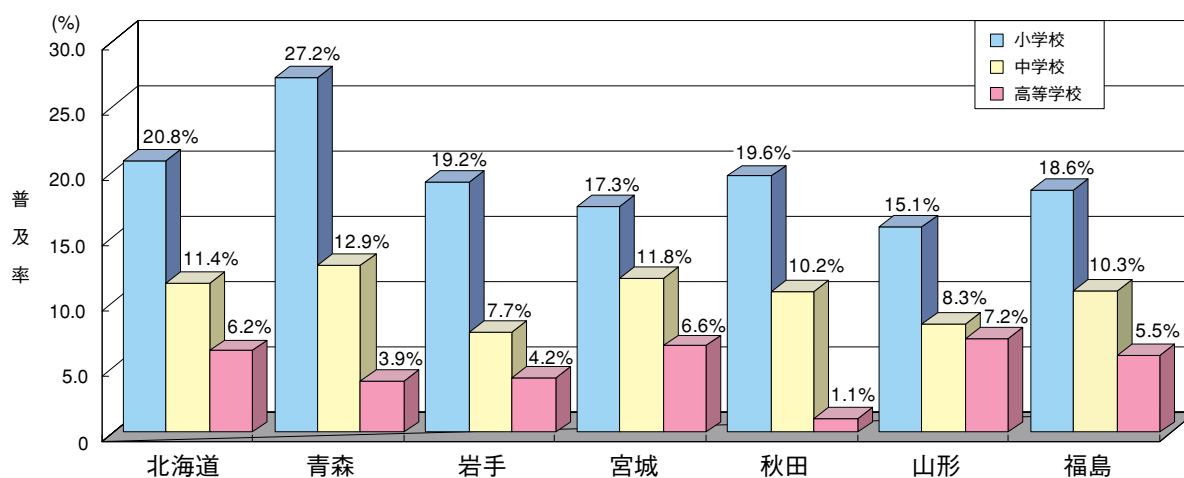


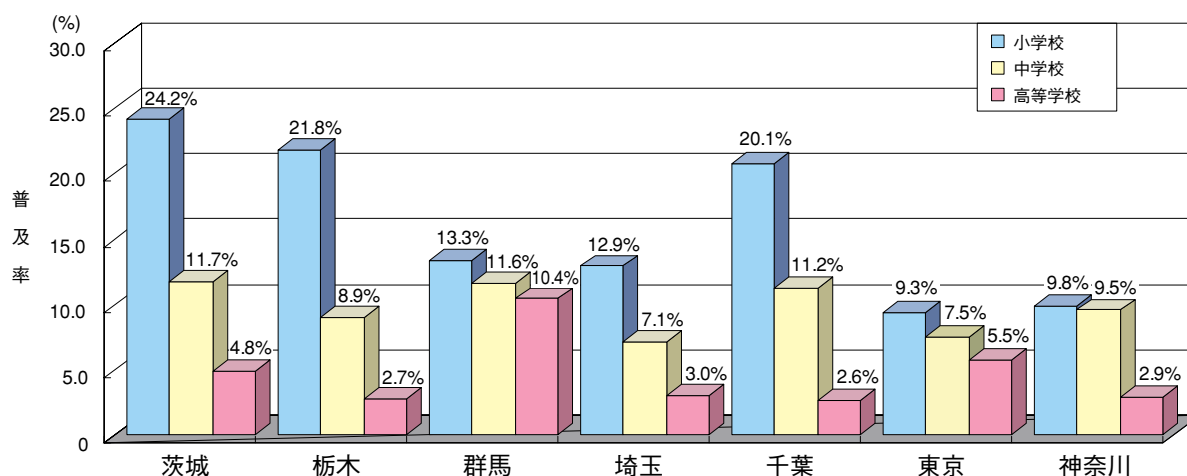
(参考データ) 都道府県別知的財産教育用教材の普及状況

① 知的財産教育用副読本の普及状況

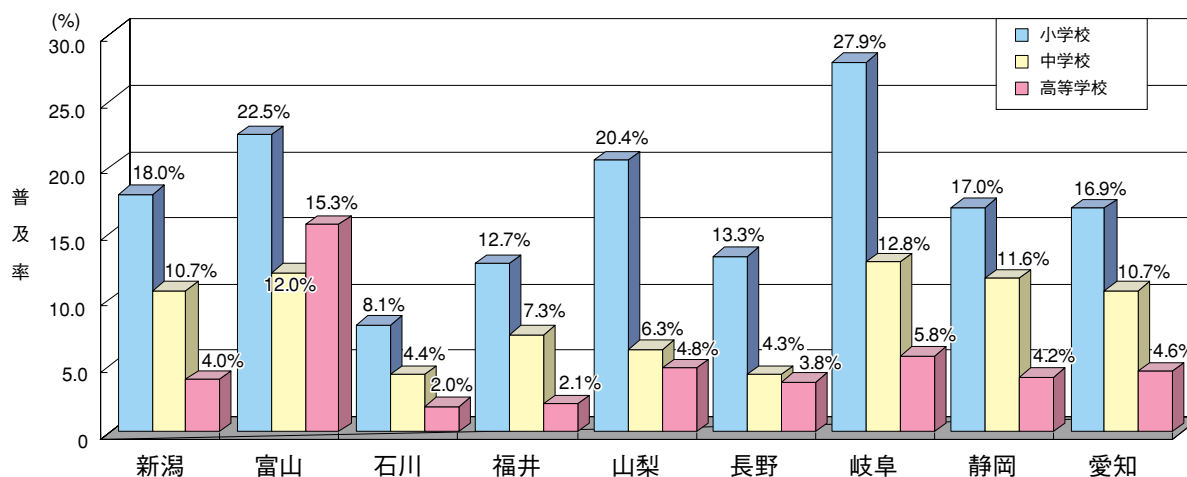
【副読本普及率（北海道・東北）】



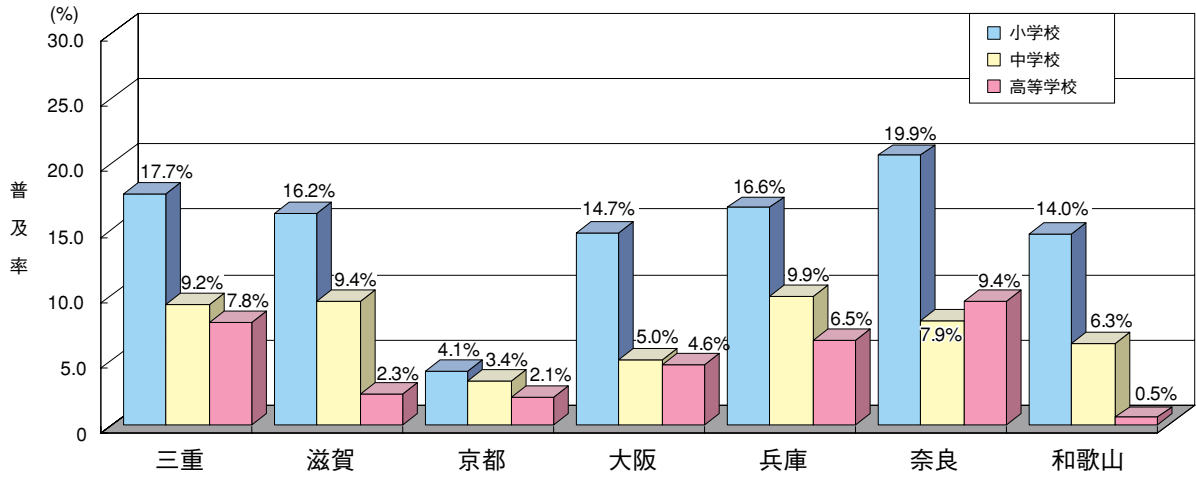
【副読本普及率（関東）】



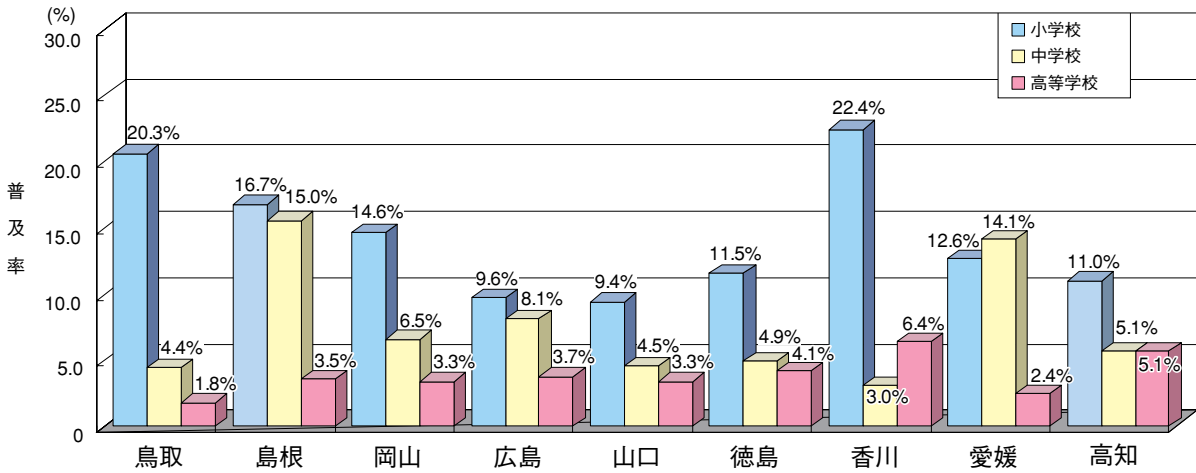
【副読本普及率（中部）】



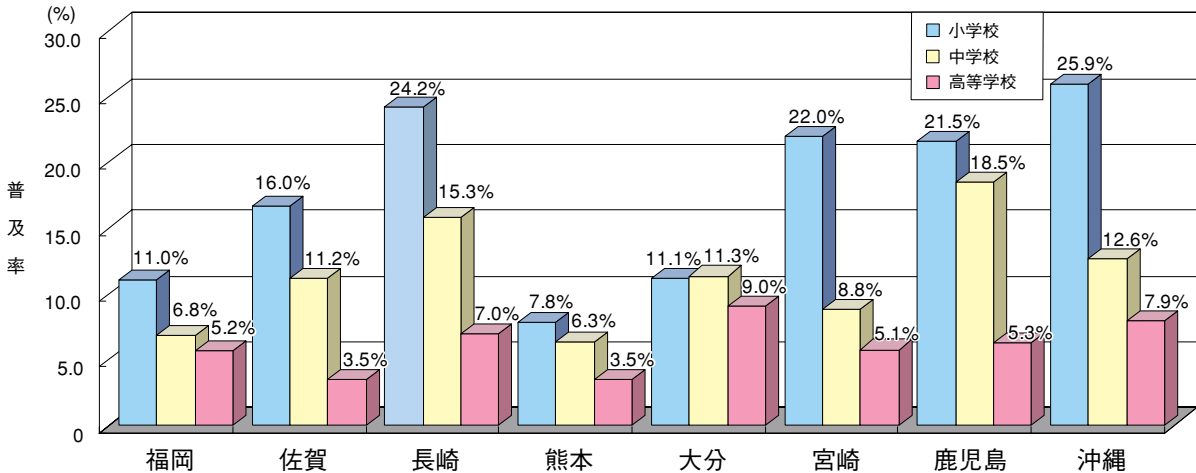
【副読本普及率（近畿）】



【副読本普及率（中国・四国）】



【副読本普及率（九州・沖縄）】



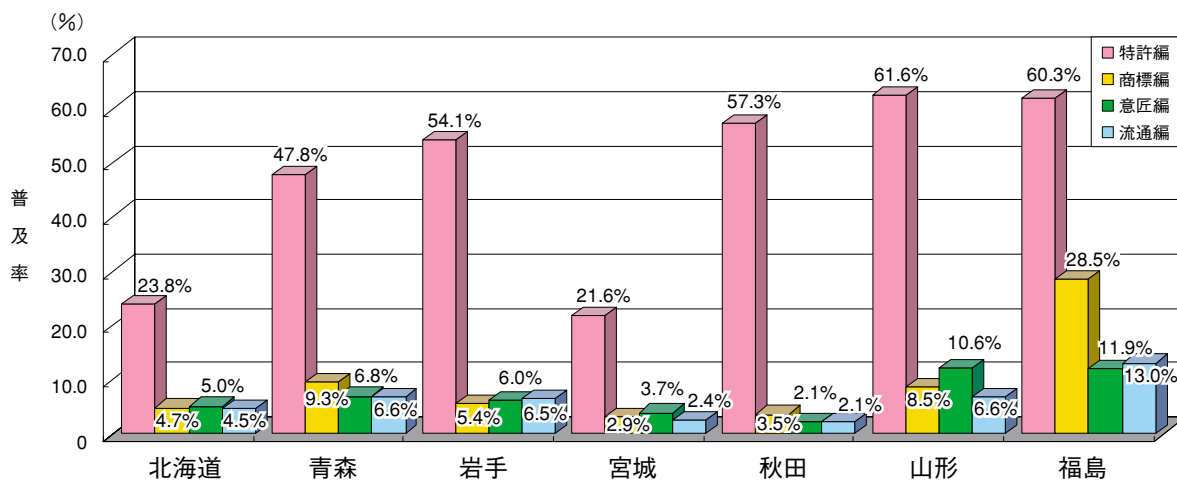
(注) 普及率 = $\frac{\text{配布数}}{\text{児童or生徒数}}$ として算出。

小学校児童数は平成13年度小学5年生の児童数（文部科学省ホームページ学校基本調査速報—平成12年度より）
 中学校生徒数は平成13年度中学2年生の生徒数（文部科学省ホームページ学校基本調査速報—平成12年度より）
 高校生生徒数は平成13年度高校2年生の生徒数（文部科学省ホームページ学校基本調査速報—平成12年度より）
 配布数は特許庁の配布データに基づく。

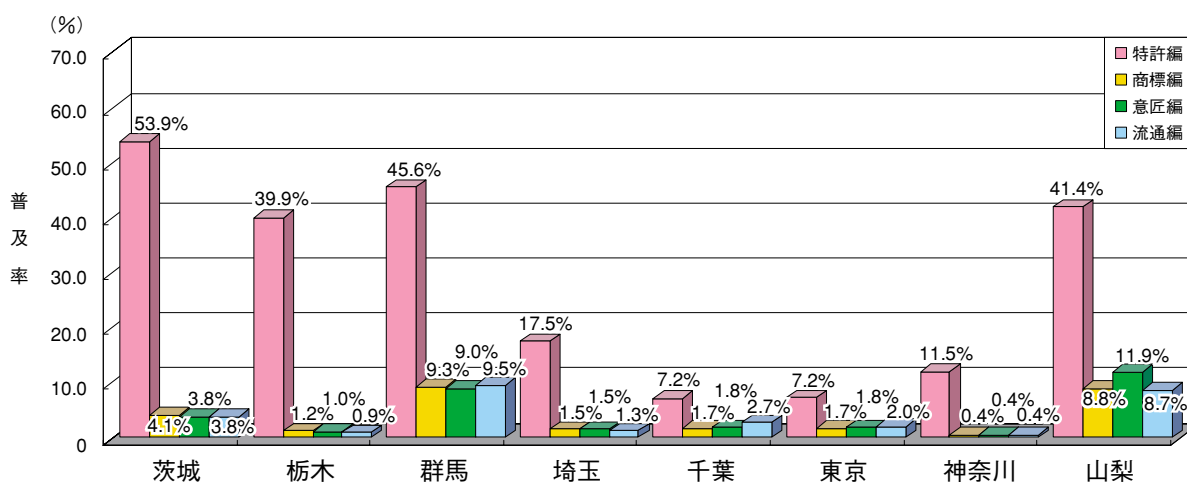
②工業所有権標準テキストの普及状況

「工業所有権標準テキスト特許編」は、全国の工業高等学校、工業高等専門学校生徒・学生には、2年生を対象に全員に提供。

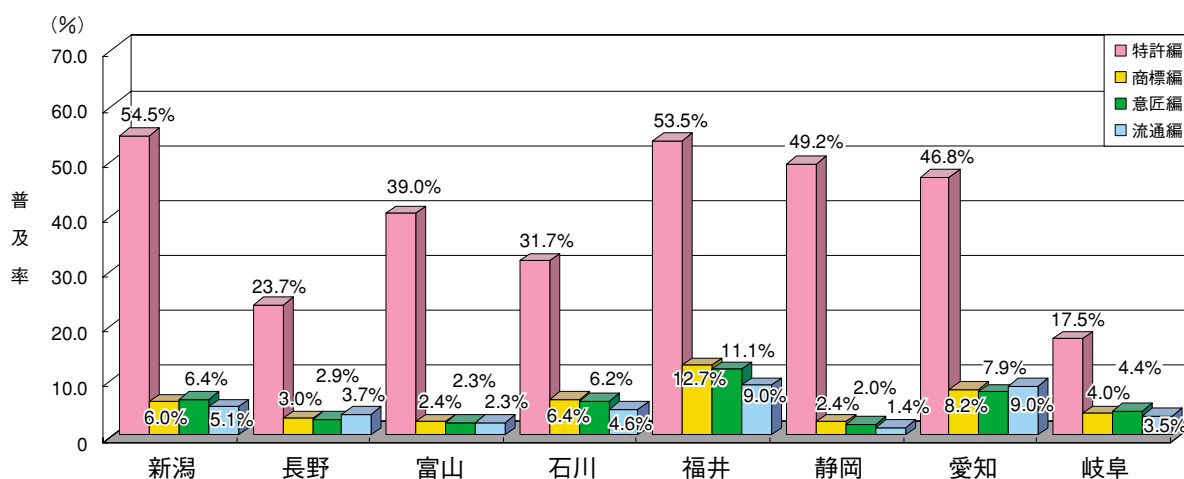
【標準テキスト普及率（北海道・東北）】



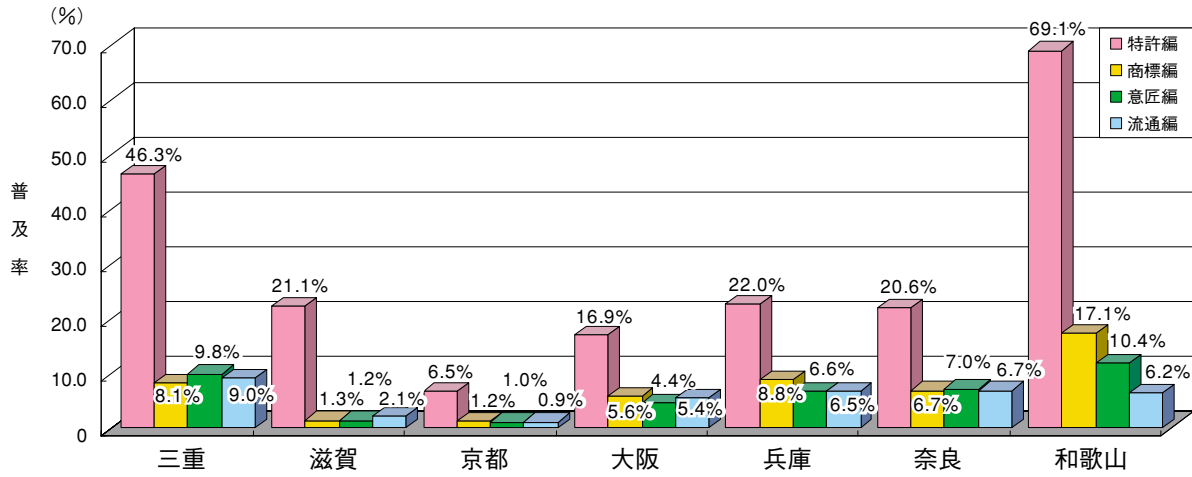
【標準テキスト普及率（関東）】



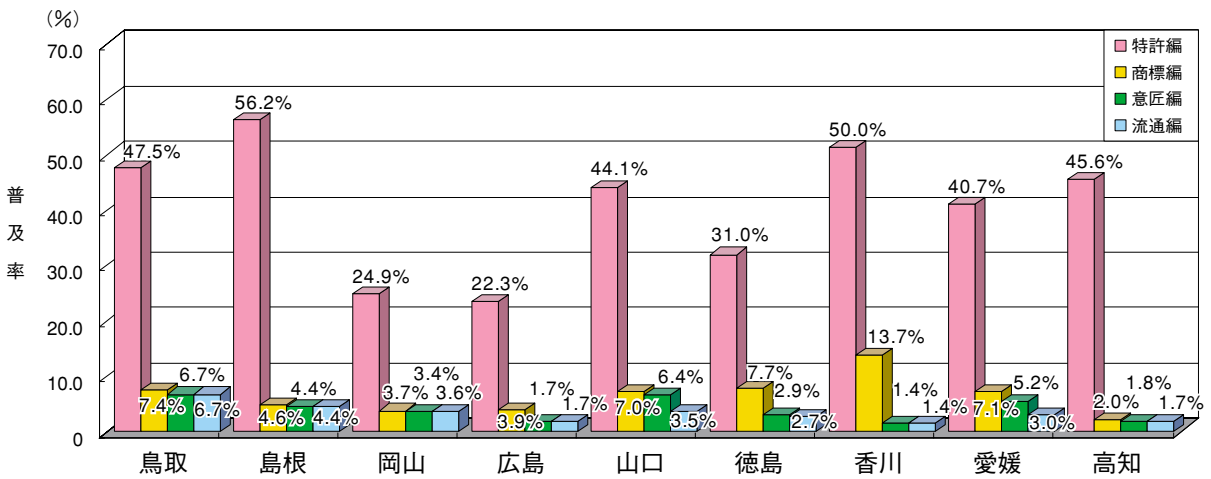
【標準テキスト普及率（中部）】



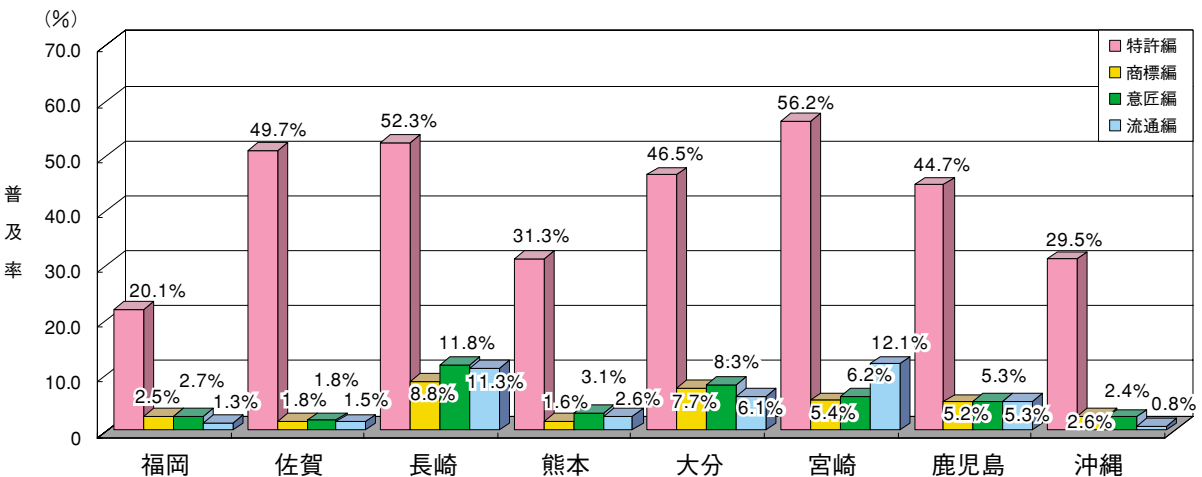
【標準テキスト普及率（近畿）】



【標準テキスト普及率（中国・四国）】



【標準テキスト普及率（九州・沖縄）】



(注) 普及率は、配布数/学生数にて計算。配布数は特許庁の配布実績（2001年度）に基づく。特許編、意匠編、流通編の学生数は、工業高校2年生、高専2年生、大学1年生の学生数の和。商標編の学生数は、商業高校2年生、大学1年生の学生数の和。（学生数は、文部科学省発行の2000年学校基本調査報告書による。）